

## 平成21年11月期 第3四半期決算短信

平成21年10月14日

上場会社名 株式会社 キヤンドゥ  
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 城戸 博司  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 古山 利之  
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日  
 配当支払開始予定日

上場取引所 東

TEL 03-5944-4112

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第3四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第3四半期	47,475		782		827		197	
20年11月期第3四半期	47,698	0.5	462	69.2	583	41.8	32	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年11月期第3四半期	1,257.17	
20年11月期第3四半期	205.20	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年11月期第3四半期	21,039	8,215	39.0	52,595.37
20年11月期	25,130	8,453	33.6	53,098.81

(参考) 自己資本 21年11月期第3四半期 8,215百万円 20年11月期 8,453百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年11月期		500.00		500.00	1,000.00
21年11月期		500.00			
21年11月期(予想)				500.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	68,229	7.9	1,180	273.8	1,240	192.7	315	217.1	1,980.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 社 (社名 ) 除外 1社 (社名 株式会社ル・ブリュ )  
(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第3四半期	159,202株	20年11月期	159,202株
期末自己株式数	21年11月期第3四半期	2,993株	20年11月期	0株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第3四半期	159,202株	20年11月期第3四半期	159,202株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
- 2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、輸出や生産などの指標に一部持ち直しの兆しも見られたものの、依然企業収益の落ち込みや雇用・所得環境の悪化により個人消費の低迷が続く、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下当社は、当連結会計年度より取り入れた各事業部の専担制等により責任区分を明確化し、積極的な営業体制にて取り組んでまいりました。しかしながら、顧客数の増加が、顧客単価の減少を補うまでにはいたらず、その結果、当第3四半期連結累計会計期間の売上高は、予想比で未達となりました。

既存店売上高におきましては、消費者ニーズが低価格志向へと移行しつつあることもあり、前年を若干下回る水準ながらほぼ横這いで推移し、回復の兆しも見受けられました。当第3四半期連結累計会計期間はほぼ予定通り新規出店42店舗、退店54店舗となり、第3四半期末の店舗数は796店舗となりました。売上総利益率は計画並み、販売費及び一般管理費、営業外収益費用、特別損益も概ね想定通りであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計会計期間の業績は売上高474億75百万円、営業利益7億82百万円、経常利益8億27百万円、四半期純利益1億97百万円となりました。売上高の構成は、直営店売上高416億64百万円（構成比率87.8%）、F C店売上高56億46百万円（構成比率11.9%）、その他売上高1億64百万円（構成比率0.3%）であります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は40億90百万円減少し210億39百万円、また負債は38億53百万円減少し、128億23百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して2億37百万円減少し82億15百万円となり、自己資本比率は39.0%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して37億21百万円減少し5億1百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は29億19百万円。

税金等調整前当期純利益6億57百万円に対して、減価償却費4億55百万円、未収入金の減少6億72百万円が加算項目、仕入債務の減少43億83百万円、未払金の減少額6億71百万円が減算項目となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は9億54百万円。

主な内訳は、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の取得支出8億18百万円等であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により増加した資金は1億56百万円。

主な内訳は、セール・アンド・リースバック取引による収入7億27百万円、短期借入による純増額5億25百万円、リース債務の返済による支出4億97百万円であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月通期の業績予想につきましては、第3四半期における業績が概ね計画どおり推移しているため、現時点では平成21年1月16日に発表いたしました予想から変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社ル・プリュは第2四半期連結会計期間において清算が結了したため、連結範囲から除外しております。なお、同社の清算までの期間の損益及びキャッシュ・フローは、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書に含まれております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ33,643千円減少しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買処理にかかる会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をリース契約上の残価保証額とする定額法を採用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は14,677千円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ5,404千円減少しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	506,906	4,233,538
受取手形及び売掛金	316,622	432,767
商品	6,839,818	7,391,436
未収入金	1,921,526	2,542,581
その他	413,790	388,028
貸倒引当金	1,926	2,562
流動資産合計	9,996,738	14,985,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,955,436	2,917,863
その他	1,953,786	1,918,653
有形固定資産合計	4,909,222	4,836,516
無形固定資産	92,170	101,921
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,402,300	4,398,259
その他	1,655,958	836,754
貸倒引当金	16,552	28,524
投資その他の資産合計	6,041,706	5,206,489
固定資産合計	11,043,099	10,144,927
資産合計	21,039,837	25,130,716
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,542,655	11,927,698
短期借入金	525,000	-
1年内返済予定の長期借入金	241,200	241,200
未払法人税等	221,179	371,365
賞与引当金	114,063	3,908
その他	1,468,276	2,027,198
流動負債合計	10,112,374	14,571,370
固定負債		
長期借入金	657,300	838,200
退職給付引当金	317,640	275,879
負ののれん	676,028	704,593
その他	1,060,624	287,236
固定負債合計	2,711,593	2,105,908
負債合計	12,823,967	16,677,279

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,718,759	2,718,759
資本剰余金	2,756,129	2,756,129
利益剰余金	3,036,348	2,996,758
自己株式	277,017	-
株主資本合計	8,234,220	8,471,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,532	4,327
為替換算調整勘定	15,817	13,883
評価・換算差額等合計	18,350	18,210
純資産合計	8,215,869	8,453,437
負債純資産合計	21,039,837	25,130,716

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)
売上高	47,475,255
売上原価	30,723,557
売上総利益	16,751,698
販売費及び一般管理費	15,968,928
営業利益	782,770
営業外収益	
受取事務手数料	53,732
負ののれん償却額	28,564
その他	11,712
営業外収益合計	94,008
営業外費用	
支払利息	26,802
雑損失	13,835
その他	8,977
営業外費用合計	49,615
経常利益	827,163
特別利益	
受取補償金	110,101
前期損益修正益	17,848
その他	7,688
特別利益合計	135,638
特別損失	
固定資産除却損	188,358
減損損失	113,802
その他	2,881
特別損失合計	305,043
税金等調整前四半期純利益	657,758
法人税等	460,463
四半期純利益	197,295

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年12月1日  
 至 平成21年8月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	657,758
減価償却費	455,658
減損損失	113,802
負ののれん償却額	28,564
長期前払費用償却額	23,740
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,607
退職給付引当金の増減額(は減少)	41,760
賞与引当金の増減額(は減少)	110,155
受取利息及び受取配当金	2,336
支払利息	26,802
デリバティブ評価損益(は益)	431
為替差損益(は益)	1,918
固定資産除却損	116,372
固定資産売却損益(は益)	1,655
長期前払費用償却額(特別損失)	578
売上債権の増減額(は増加)	116,145
たな卸資産の増減額(は増加)	549,458
仕入債務の増減額(は減少)	4,383,593
未収入金の増減額(は増加)	672,795
未払金の増減額(は減少)	671,722
その他の資産の増減額(は増加)	34,595
その他の負債の増減額(は減少)	84,119
小計	2,259,313
利息及び配当金の受取額	760
利息の支払額	26,802
法人税等の還付額	836
法人税等の支払額	635,466
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,919,985</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	8,016
有形固定資産の取得による支出	818,920
無形固定資産の取得による支出	10,168
投資有価証券の売却による収入	1,989
貸付金の回収による収入	3,252
長期前払費用の取得による支出	33,747
出資金の回収による収入	40
敷金及び保証金の差入による支出	299,603
敷金及び保証金の回収による収入	195,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>954,084</b>

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年12月1日  
至 平成21年8月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	525,000
長期借入金の返済による支出	180,900
セール・アンド・リースバック取引による収入	727,833
リース債務の返済による支出	497,688
自己株式の取得による支出	277,017
配当金の支払額	141,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	156,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,772
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,721,632
現金及び現金同等物の期首残高	4,223,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	501,851

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日至平成21年8月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成19年12月1日至平成20年8月31日）

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日至平成21年8月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成19年12月1日至平成20年8月31日）

全セグメントの売上高の合計を占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日至平成21年8月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成19年12月1日至平成20年8月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

( 1 ) ( 要約 ) 四半期連結損益計算書

前第 3 四半期連結累計期間 ( 平成19年12月 1 日 ~ 8 月31日 )

科目	前年同四半期 ( 平成20年11月期 第 3 四半期 )
	金額 ( 千円 )
売上高	47,698,281
売上原価	30,859,413
売上総利益	16,838,867
販売費及び一般管理費	16,376,335
営業利益	462,531
営業外収益	
受取利息	16,018
受取配当金	527
事務手数料収入等	54,431
デリバティブ差益	535
雑収入	20,804
負ののれん償却額	53,315
その他	1,887
営業外費用	
為替差損	8,567
雑損失	18,087
経常利益	583,395
特別利益	
営業補償金収入	66,090
特別損失	
固定資産売却損	1,329
固定資産除却損	265,992
長期前払費用償却	10,296
減損損失	9,182
過年度損益修正損	927
税金等調整前四半期純利益	361,757
税金費用	394,426
四半期純利益 ( 損失 )	32,668

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年12月1日～平成20年8月31日)

	前年同四半期 (平成20年11月期第3四半期)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	361,757
減価償却費	675,661
減損損失	9,182
負ののれん償却額	53,315
長期前払費用償却費	32,596
貸倒引当金の増加額	11,267
退職給付引当金の増加額	3,744
受取利息及び受取配当金	16,545
支払利息	3,015
デリバティブ差損益	3,467
為替差損益	1,699
有形固定資産除却損	153,977
有形固定資産売却損	1,329
長期前払費用償却費(特別損失)	10,296
売上債権の減少額又は増加額( )	24,037
たな卸資産の増加額	117,819
仕入債務の増加額又は減少額( )	3,925,778
未収入金の減少額又は増加額( )	166,087
未払金の増加額又は減少額( )	373,903
その他資産の純増減	167,171
その他負債の純増減	223,007
小計	5,175,175
利息及び配当金の受取額	12,038
利息支払額	2,928
法人税等の還付額	217,019
法人税等の支払額	252,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,149,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	516,176
有形固定資産の売却による収入	979
無形固定資産の取得による支出	13,461
貸付金(割賦売上債権)の発生による支出	2,100
貸付金(割賦売上債権)の回収による収入	3,052
長期前払費用の支出	14,559
出資金の返還による収入	21
敷金補償金の差入による支出	67,218
敷金補償金の返還による収入	140,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	469,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権付社債消却および償還による支出	3,603,000
長期借入による収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	60,300
配当金の支払額	174,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,637,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,799
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	2,047,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,871
連結範囲の変更による現金及び現金同等物の増加額	112,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,977,440

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## 6 . その他の情報

該当事項はありません。